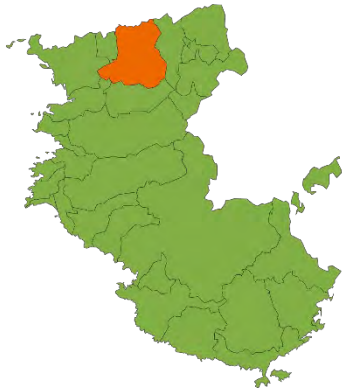


和歌山県紀の川市

紀の川市の新商品開発プロジェクト



【活動の基本情報】

参加学生数: 6 名

(1 年生: 6 名)

活動期間: 2023 年 5 月～2025 年 1 月

担当教員: 竹田明弘

1. 活動実施の経緯

LPP(紀の川市)では、これまでフルーツを用いた数多くのスイーツ商品を提携企業、店舗と開発、販売してきた。本年度は、スイーツの商品開発だけでなく紀の川市の店舗と共同した商品開発企画として実施された。

2. 活動の内容

本活動は、参加希望した観光学部学生、紀の川市役所、協力店舗の3者の協力のもとで実施した活動である。本年は、Café sweets Sablier、観光特産センターこかわの 2 店舗と共同活動を実施した。なお、Café sweets Sablierとは 2025 年 2 月に同店舗で実施されるアフタヌーンティーで提供されるプチスイーツ、観光特産センターこかわとは 6 月販売予定の発酵食品を利用したドレッシングの共同開発活動を実施した。Café sweets Sablierについては提供するプチスイーツについてはすでに完成しており、2025 年 2 月に商品提供される予定である。観光特産センターこかわとの活動については、商品完成を 2025 年 5 月末としたいという同店舗の希望により 2025 年 3 月までに商品完成、同年 3 月以降で商品ラベルデザイン、6 月発売の予定というスケジュールになっている。現在の進捗状況として共同開発するドレッシングの原案までは終了しており、試作段階にある。

3. 活動を通じて

本年は 2 つの店舗との活動であるということもあり、6 名の学生について 3 名×2 グループという体制で活動を実施した。ミーティングについては、それぞれがスイーツ、ドレッシングに関する市場情報の発表、アンケート調査と分析という作業を行い、もう一方のグループがそれについてコメントするという様式で進行した。それぞれのグループが最初のプレゼンと比較して、最終のプレゼンはかなりよいものとなっており、学生自身も大きく成長したと考える。とはいえ 1 年次生であり、まだまだ学ぶことも多いと思う。残りの学生生活について多くの学びをし、自らの目標達成に向けて努力と成長を続けて欲しい。

4. 成果ポスター



紀の川市LPP

メンバー

T2410010 上原 ひかり
T2410115 横井 彩乃
T2410116 吉田 安加里

T2410012 宇埜 光莉
T2410089 船越 宙
T2410113 山辻 彩加



紀の川市について

平成17年に紀の川流域の那賀郡打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町の5町が合併して誕生した和歌山県北部に位置する市です。農業産出額全体では和歌山県内1位を誇り、トップブランド「あら川の桃」をはじめ、はっさく、いちじく、柿、キウイフルーツ、いちごなど四季折々の果物が収穫することができます。

紀伊国分寺跡の史跡、粉河寺などの文化財や、江戸時代に世界で初めて全身麻酔による乳がん摘出手術を成功させた華岡青洲など、伝統のある歴史や文化を持っている街です。



活動内容

アフタヌーンティー プチケーキ考案



ケーキ班の活動内容は粉河地区のカフェサブリエ（cafe sweets Sablier）とコラボして、2月11日発売のアフタヌーンティーに乗せる、イチゴを使用したプチケーキの提案でした。予約枠がすぐ埋まるほどの人気店のため、「売れる商品」よりも「満足度の高い商品」を目指し、リピーターの方が一人でも増えることも目標に取り組みました。SNSなどで流行の調査をし、お店の雰囲気に合うデザインを考案を行いました。パレエコア・花・バレンタインの3つのコンセプトを提案し、最終的にバレンタインコンセプトでエクレアやジャムサンドクッキーなど多くのスイーツを採用していただくことができました。

発酵ドレッシング開発



発酵ドレッシング班は、観光特産センターこかわと紀の川市の協力のもと紀の川の特産である果物を使用した発酵ドレッシングを開発しています。

実際に紀の川市を訪れ、既存の発酵ドレッシングの試食と発酵についての短い講話をしていただきました。

これをもとに発酵ドレッシングの原案を考え、紀の川市の特産であるはっさくを使用した甘酸っぱいまろやかなドレッシングを開発予定です。

この商品を通して、紀の川市のはっさくを全国に発信していくとともに、地域発展にも貢献していきたいと考えています。商品は今年5月の販売を目指しています。

まとめ

この活動を通して、紀の川市や特産のフルーツについての理解が深まりました。また自分たちの思い付きではなく、流行やデータに基づくことで説得力のある提案ができるということも学ぶことができました。今年度で活動は終了しますが、紀の川市の魅力やここで得た知識を今後学生生活に活かしていきたいです。

2024.4-2025.2



4. 2024 年度合同活動報告会の実施

2) 発表の実施報告

本会では、各報告時間に2プログラムずつ、別のエリアで発表を行った。当日の振り返りと報告のため、後日、各プログラムの発表の様子や、アンケートフォームで回収したご意見・ご質問に対する回答をまとめた報告書を参加学生が作成した。

和歌山県紀の川市

テーマ: 紀の川市の新商品開発プロジェクト

●報告について

紀の川市 LPP は紀の川市の食材を使った新商品を開発しようという目標のもと 2 つの班に分かれ、実現に向け取り組んだ活動の内容について報告した。アフタヌーンティー開発班はすでに商品開発を終えていたため、そこに至るまでの経緯や商品を作るうえでのコンセプトについて説明した。一方、発酵ドレッシング開発班は、現在も商品開発の最中であるため現在までの報告と今後の活動予定について報告した。最後にまとめとしてこの活動を通して学んだこと、得た知見について述べた。質問の時間には、「自分らしさをどのような場面で活かすことができたか」という質問に対して、各々が自分の考えを伝えた。1 回生のみの LPP であったがそれぞれが役割を考え、行動できた報告会であったと思う。

パネル展示の時間には、地域住民の方や行政の方が質問にいらして下さり、自分たちの成果について説明する機会ができたことでより活動のやりがいを実感することができた。